

山梨市の笛吹川フルーツ公園が「恋人の聖地」に認定されたことを受け、山梨知的財産教室代表の竹内一夫さん(西巴)らが公園の活性化に役立ててもらおうと、手作りの「微笑神人形」百体と詩二作品を市フルー

峡東

ツパークに寄贈した。

「微笑神人形」は竹内さん自作で高さ四寸の陶器製。「愛」「Love」の文字が刻まれている。詩は同教室スタッフの作詞家竹内秀秋さん(八二)と高校一年の吉田みきさん(一六)の二

「恋人の聖地」へ「愛」の人形



市フルーツパークに寄贈された人形と詩

山梨市フルーツパークに竹内さんら

詩とともに100体贈る

人の作品。「恋人の聖地(ふるさと)」と題し、それぞれ公園への思いをつづっている。

十一月、同公園で行われた寄贈式では、竹内一夫さんらが同パーク担当者に人形などを手渡した。

竹内一夫さんは「聖地の認定を受け、ますます魅力的な場所になったと思う。人形を役立ててほしい」と話す。

同パークは「人形を来場者に配るなどして、公園のPRと活性化に活用したい」としている。

聖地の認定は静岡県のNPO法人地域活性化支援センターが行っている。同公園は今年七月に認定を受けた。